



## 平成 31 年度実施事業「大学発ベンチャー事業シーズ育成支援プログラム」 (第 3 期九大ギャップファンド) の実施と採択案件について

九州大学では、「大学発ベンチャー事業シーズ育成支援プログラム（通称：九大ギャップファンド）を平成 29 年度より実施しております。この度、今年度実施する事業シーズ 10 件を採択いたしました（別紙参照）。今後、7 ヶ月間のプログラム期間（平成 31 年 4 月～同年 10 月末）をかけて、研究成果（知的財産）の事業化について検証を進めて参ります。

本プログラムは、本学の研究成果（知的財産）に基づく大学発ベンチャー創出促進を目的としており、起業を志す本学の教職員を対象とした、九州大学独自の学内プログラムです。自己の研究成果（知的財産）を用いた事業提案に対して、事業化検証資金（200 万円／1 件）を提供します。プログラム期間中は、九州大学／学術研究・産学官連携本部が相談窓口となり、外部機関の協力を得ながら、事業化検証（試作品の作製・試作品に対する顧客評価）を進めていきます。プログラム期間終了後は、最終的な検証結果に対して、外部有識者から評価・アドバイス等のフィードバックを得て、その後の研究開発に還元させていきます。なお、本プログラムを通じ有望な事業シーズであると認められた場合は、起業へ向けた組織的な支援を実施しております。

昨年度までに採択された事業シーズ 20 件の中から、既に 3 件が会社を設立しており、その他の事業シーズも外部資金獲得や事業会社・金融機関等との連携など事業化に向けた活動を積極的に行っております。

九州大学では、平成 28 年 4 月に学術研究・産学官連携本部内にベンチャー創出推進グループを新設し、外部機関と連携を取りながら、大学の研究成果（知的財産）の社会実用化に向けて取り組んでおります。特に事業シーズの発掘から事業化検証までを行う九大ギャップファンドをコア事業として推進し、九大発ベンチャーの創出支援を実施して参ります。

### <プログラムの概要>



### 【お問い合わせ】

学術研究・産学官連携本部 ベンチャー創出推進グループ

TEL : 092-832-2168 FAX : 092-832-2147

Mail : startup@airimaq.kyushu-u.ac.jp

## ＜第3期 採択事業シリーズ一覧＞

No.	所 属	事 業 シ ー ズ の 名 称
	氏 名 (職 名)	概 略
1	工学研究院 化学工学部門	燃焼後排ガスから高速・低コストにCO <sub>2</sub> を分離する材料・プロセス CO <sub>2</sub> 分離コストを劇的に削減し、世界のCO <sub>2</sub> 排出量の削減を実現！
	星野 友 (准教授)	国内で供給されるCO <sub>2</sub> 価格の高騰を受け、火力発電所や工場から排出される燃焼後排ガス中から高速・低コストにCO <sub>2</sub> を分離する材料を開発する。
2	工学研究院 機械工学部門	手指リハビリロボット SMOVE
	荒田 純平 (准教授)	脳血管疾患患者に良質なりハビリ環境を提供し、健康寿命延伸に貢献！ 寝たきりの大きな原因となる脳血管疾患に対して、生体信号をもとに動作する手指リハビリロボットを提供し、治療への貢献を目指す。
3	先端医療イノベーションセンター プロジェクト部門	軟性鏡がん治療ロボット
	中楯 龍 (特任准教授)	低侵襲かつ操作容易ながん治療用の軟性内視鏡ロボットを提供！ 消化器がん患者にとって負担の少ない、軟性鏡がん治療ロボットを開発する。
4	生体防御医学研究所 メタボロミクス分野	メタボロミクス解析アルゴリズム搭載のソフトウェア開発
	中尾 素直 (学術研究員)	代謝物を簡単かつ正確に定量解析するソフトウェアを開発！ 測定方法が標準化されていない代謝物を、誰でも短時間で定量解析できるソフトウェアを開発。新たなバイオマーカーの発見に貢献する。
5	システム情報科学研究院 電気システム工学部門	微粒子誘電泳動DNA検出法を用いた簡便・迅速な遺伝子増幅検査
	中野 道彦 (准教授)	電気的な新規増幅DNA検出法で簡便・迅速に遺伝子増幅検査を実施！ 近年応用範囲が広がっている遺伝子増幅検査を独自技術で簡便・迅速化を実現する。簡易検査装置を開発して、病原菌、遺伝子検査に貢献する。
6	先導物質化学研究所 分子集積化学部門	高機能分子の創製と応用
	友岡 克彦 (教授)	これまで世界に存在しなかった新機能分子を提供！ 独自の分子設計と斬新な効率的合成によって、新型キラル分子やクリック反応分子等を提供し、新薬や高機能物質の開発に貢献する。
7	薬学研究院 グローバルヘルスケア分野	ペットの体内時計を活性化するマイクロ電流による健康寿命改善技術
	松永 直哉 (准教授)	ペットの健康増進を目的とした健康機器を開発！ 現代社会で家族の一員であるペットに対して、微弱な電流を流す事で、ペットの体内時計を整え、健康維持・管理を可能とする装置を開発する。
8	総合理工学研究院 物質科学部門	超効率的分子軌道計算法-Elongation法のバイオ系への実用化に向けて
	青木 百合子 (教授)	バイオ創薬・化学分野で用いる国産量子計算化学ソフト！ スパコンでも計算化学では取扱いが困難とされる複雑な構造を有した高分子化合物を、PC上で処理可能な高精度量子計算化学ソフトを開発する。
9	農学研究院 農業資源経済学部門	化学肥料に代替する濃縮バイオ液肥(Bio-CLF)の開発
	矢部 光保 (教授)	メタン発酵消化液を原料にした高品質な有機液体肥料の提供！ 消化液から肥料成分を窒素、リン酸、カリに分離濃縮回収し、作物や土壌特性によって成分を配合し、養液栽培にも使用可能な液体肥料を供給する。
10	工学研究院 地球資源システム工学部門	防災対策を目的とした地下環境の実時間監視システム
	水永 秀樹 (准教授)	地域の命は地域で守る！ 防災・災害現場（土砂災害や地すべり等）での活用を目的とした、世界初の地下環境のリアルタイムモニタリングシステムを開発する。